

※このメールは全国介護事業者連盟会員の方へ配信しております。

- ・ 全国介護事業者連盟ホームページ
<https://clk.nx1k.jp/qfPqrfJr/test>
 - ・ 介護チャンネル 全国介護事業者連盟公式チャンネルに是非ご登録をお願い致します。
<https://clk.nx1k.jp/GrNagvFE/test>
 - ・ 全国介護事業者連盟公式 Facebook ページ
<https://clk.nx1k.jp/0nebz1cm/test>
 - ・ 全国介護事業者連盟公式 twitter
<https://clk.nx1k.jp/o2snuNLo/test>
 - ・ 全国介護事業者連盟公式 instagram
<https://clk.nx1k.jp/1ldQf1YS/test>
- ・ 本内容に関するお問い合わせ、およびメールマガジン配信先の追加（法人幹部、各事業所の管理者や職員などのメールアドレス）を希望される場合こちらまでお願いします。
Mail:info@kaiziren.or.jp

／／／／／／／／ ★目次★ ☆彡 －／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／／

- ・ 全国介護事業者連盟からのお知らせ
- ・ 厚生労働省ニュース/内閣府ニュース
- ・ 介護ニュース

□ ■
■ 全国介護事業者連盟からのお知らせ

理事挨拶

本年6月に全国介護事業者連盟（以下、『介事連』）の理事に就任いたしました、SOMP Oケアの遠藤健と

申します。

当社は、損害保険事業等を展開するSOMPOグループにおいて介護事業を担う会社です。「人間尊重」を経営の基本とし、介護付きホームやサービス付き高齢者向け住宅、グループホームなど居住系サービス約450施設、在宅系サービス約550事業所を全国で運営しています。

介護保険制度創設から20年以上が経過し、高齢者人口の増加と生産年齢人口の減少、社会保障費の増大、認知症の増加、そして介護現場の労働環境改善など、介護業界を取り巻く多くの課題が顕在化しています。なかでも、増加する介護需要を支えるための供給力を確保するという介護人材の「需給ギャップ」は、介護業界が直面している最大の課題です。これを解決するには、介護現場の生産性向上とサービス品質の向上を両立させた、持続可能な介護事業モデルを確立していく必要があります。

そのためには、ICT・デジタル技術の活用が欠かせません。最新テクノロジーに任せられる部分を見直し、職員が人にしかできないことに集中できる環境を整えることが必須だと考えています。

今般の報酬改定では、データベースへの情報提供が加算対象になりました。

そして、我々介事連も、5大政策方針のなかに「科学的介護手法の確立」、「介護現場のICT化・ロボット活用の推進による業務効率の向上」を掲げています。エビデンスを蓄積したデータ分析を行う科学的介護への転換は、ますます加速するでしょう。ぜひ、会員各社で協力して取り組んで参りましょう。

その他3つの政策方針である「現場視点によるサービス品質向上」、「介護職の処遇改善・ステータス向上」、「海外・アジアの介護産業化の推進」も、介護事業を持続可能なものとするためには、欠かすことのできない取り組みです。いずれも難しい課題ですが、一つひとつ着実に実現していきたいと考えています。

加えて、国や社会に対する介護業界からの発言力も、強化していく必要があります。高齢者の尊厳を守り、自立支援につなげていくためにも、介護業界が抱える課題を世間に対して広く伝え、それを解決する方策について国などへしっかりと提言していくことは、介事連の大きな使命であると認識しています。

微力ながら、日本の介護を支える皆さんと、共に取り組んでいく所存です。

どうぞよろしくお願いいたします。

〈プロフィール〉

SOMPOケア株式会社 代表取締役社長 遠藤 健

76年早稲田大学卒業、安田火災海上保険（現・損害保険ジャパン）入社。

同社専務、ジャパン保険サービス（現・損保ジャパンパートナーズ）社長などを経て、

2015年12月SOMPOケアネクスト社長。17年6月SOMPOケアメッセージ社長を兼任。

18年7月にグループ傘下の介護事業会社4社が合併した新生SOMPOケアの社長に就任。

◆【介護福祉事業者のためのマネジメント力向上セミナーのご案内】

- 主催：一般社団法人全国介護事業者連盟
- 共催：一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会
- 日時：2021年9月17日（金）16：00～18：30
- 参加費用・形式：無料・オンライン

▼セミナーの詳細確認と申し込みは下記よりお願いします。

<https://clk.nxlk.jp/hmnWjAZU/test>

◆【介護事業者の新規事業による可能性と、補助金活用セミナーのご案内】

コロナ禍の中でますます厳しい状況に立たされている事業者様も数多くあるなかで、今後継続的に事業を行っていくうえで、介護事業と合わせてもう一つ収益の柱をつくりたいというお話が増えおります。

今回は、上記のようなご要望にお応えできるように、介護事業者様が取り組める新事業についてご説明させて頂くオンラインセミナーを準備いたしました。

新事業に取り組むうえで、活用いただける大型の補助金（最大1億円の補助）についてもご説明させていただきます。

収益についてお悩みがある事業者様、今後新しい事業展開を検討されている事業者様は是非ご参加いただければと存じます。

●主催：株式会社フジテックス

●セミナー内容：介護事業者の新規事業による可能性と、補助金活用セミナー
～ 障害福祉事業の収益モデルと事例、事業再構築補助金の活用について ～

●日時：9月8日（水）16時～18時

●参加費用・形式：無料・オンライン（ZOOM ウェビナー）

●内容：今回のセミナーでは多角化経営という観点から、新規事業として取り組める障害福祉事業についてご説明させていただきます。

収益モデルや、成功されている事業者様の事例などのご紹介とともに、コロナ禍の中、新規事業立ち上げ、業態転換にも活用いただける事業再構築補助金についても詳しくご説明させていただきます。

※事業再構築補助金とはコロナ禍の中で、業績が下がってしまっている事業者が、新規事業、業態転換に取り組むことで最大1億円の補助が出る大型の補助金となっております。

▼セミナー詳細・申込フォーム

<https://clk.nxlk.jp/4x1f41IL/test>

▼お申し込み方法

上記WEB、もしくはメール fjsanitation@fjtex.co.jp にご連絡ください。

◆【事故防止体制再構築の具体策～事故防止活動の効率化とは～】

●主催：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

●内容：本セミナーでは10月本格的に義務化される「介護事故防止の体制強化」に対して、現状の事故防止活動を効率化して対応する方法を提案いたします。事故防止効果が高い対策に集約してムダを見直し、活動をスリム化して取り組む方法をご紹介します。

●日時：2021年9月9日（木）14時～16時 定員なし

●参加費用・形式：無料・オンライン

▼講演者

講演者：株式会社安全な介護 代表取締役 山田 滋

▼申込フォーム（参加無料）

<https://clk.nxlk.jp/v5w5nLTh/test>

※ご参加には「e-mail アドレス」が必要となります。申込後、当日参加用のURLが記載されたメールが届きましたら登録完了となります。

※「申込コード」欄へは「KJR」とご入力ください。

▼セミナー参加方法、当日の接続方法

<https://clk.nx1k.jp/JK8LpLrh/test>

※本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「WEBEX」に依存します。

接続ができない場合は以下の「Webex Meetings Suite システム最小要件」でPCなどの設定や通信環境のご確認をお願いいたします。

<https://clk.nx1k.jp/zUVtdWNE/test>

◆【リモート介護レク体験&トークセッションのご案内】

●主催：BCC株式会社スマイル・プラスカンパニー

●内容：レクリエーション研修。実際に介護施設で提供している介護レクリエーションを実演。その後、芸人ならではのコミュニケーション方法や進行ポイントをお伝えします。

●日時：2021年9月29日（水）10：00～12：00

●参加対象：介護従事者（介護職員等）

●参加費用：全国介護事業者連盟会員 7,300円/名 ・ 一般 8,400円/名

●形式：オンライン

▼講演者：①レギュラー（吉本興業ホールディングス株式会社所属 お笑い芸人）

②藤井寿和 講師（レクリエーション介護士 公認講師）

▼介護レク研修の詳細確認と申し込みは下記よりお願いします。

<https://clk.nx1k.jp/DJitXvJn/test>

◆人材採用関連費用（特に職業紹介の利用にかかる費用）の定量把握にむけたご協力をお願い ※アンケート調査原票添付

<https://clk.nx1k.jp/mqbIdRHD/test>

◆株式会社エブリ・プラス、吉本興業ホールディングス株式会社、東日本電信電話株式会社神奈川事業部、BCC株式会社との共同で、「よしもとお笑い介護レク～オンライン～」の提供を開始いたします。

<https://clk.nx1k.jp/C3NOPULu/test>

◆全国介護事業者連盟公式チャンネル 介護チャンネル

介護職 69万人が必要 処遇改善・外国人活用だけでは解決しない

<https://clk.nx1k.jp/IeDI6DpP/test>

全国介護事業者連盟×ケアマネジメントオンライン 共催セミナー「生まれ変わる介護保険制度、ケアマネに求められる役割は」ダイジェスト

<https://clk.nx1k.jp/v7VAu9Sf/test>

介護人材不足は総合対策でしか解決しない。具体策を徹底解説！

<https://clk.nx1k.jp/JAoWGJ0q/test>

認知症の方と接する上で1番大切なこと

<https://clk.nx1k.jp/81PvNNyX/test>

【全国介護事業者連盟動向】

- 7月28日 日本在宅介護協会東京・北関東支部トップセミナーで理事長が講演（オンライン）
- 8月 3日 公益社団法人日本介護福祉士会と意見交換（東京都）
- 8月 3日 新潟県支部幹事会の開催（オンライン）
- 8月 3日 東海支部幹事会の開催（オンライン）
- 8月 4日 一般社団法人日本在宅介護協会の森信介会長と意見交換（東京都）
- 8月 5日 東北支部設立準備会の開催（オンライン）
- 8月 6日 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課障害児・発達障害者支援室との意見交換（オンライン）
- 8月 6日 株式会社高齢者住宅新聞社 主催 『採用と定着』・『科学的介護と生産性向上』 オンラインセミナーで理事長が講演
- 8月 9日 第11回常任理事会（東京都 オンライン）
- 8月11日 一般社団法人北海道認知症グループホーム協会の宮崎直人会長と意見交換（北海道）
- 8月12日 一般社団法人日本在宅ケアアライアンスと意見交換（東京都）
- 8月12日 一般社団法人日本デイサービス協会理事会に理事長が参加（オンライン）

■ 厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

●デ이의69%が「コロナ感染拡大で利用者のADL低下心配」 高齢者の身体運動時間4分の3に減少
令和3年版厚生労働白書の中で、昨年6月6日に一般社団法人人とまちづくり研究所が介護サービス事業所に対し実施した調査「新型コロナの影響で利用者の状態悪化やリスクとしてどのようなことが気になるか」の結果が示されました。

「訪問系」「通所系」「多機能系」「施設・居住系」とサービス形態ごとに回答をまとめており、通所系では「ADL低下」「外出・交流機会の減少」「認知機能低下」が上位です。とくに「ADL低下」は68.9%の通所系事業所が、「認知機能の低下」は58.1%が「気になる」としており、他の類型に比べ突出して多くなっています。これからもデイサービスなどの通所系は高齢者の心身の健康維持に大きな役割を果たしていることが伺えます

なお、同白書には、2020年4月～5月の高齢者の1週間当たりの身体運動時間は180分で同年1月の240分から4分の3に減少したとの調査結果も掲載されました。これにはデイサービスをはじめとする高齢者の「通いの場」の休止・高齢者の自主的な利用控えなどが影響しているものと思われます。

令和3年版厚生労働白書

<https://clk.nx1k.jp/sYgeTvCC/test>

人口動態統計速報（令和3年5月分）

<https://clk.nx1k.jp/MCymSyrv/test>

「人口動態統計月報（概数）」令和3年3月分

<https://clk.nx1k.jp/kpgd5vU9/test>

介護給付費等実態統計月報（令和3年4月審査分）

<https://clk.nx1k.jp/z0J3U18p/test>

第202回社会保障審議会介護給付費分科会（web会議）資料

<https://clk.nx1k.jp/kjPfycrq/test>

居宅介護支援事業所単位で抽出するケアプラン検証について

<https://clk.nx1k.jp/hBaVqtTT/test>

介護分野に係る事業分野別指針の一部を改正する件について（通知）

<https://clk.nx1k.jp/XKCxDMFQ/test>

雇用と福祉の連携による離職者への就職支援の推進について

<https://clk.nx1k.jp/k7Bs83g3/test>

高齢者施設等における面会に係る事例集及び留意事項等の再周知について

<https://clk.nx1k.jp/S9xhwcSq/test>

介護保険最新情報 Vol.1002（新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第26報））

<https://clk.nx1k.jp/941GVbHE/test>

介護保険最新情報 Vol.1001（介護分野に係る事業分野別指針の一部を改正する件について（通知））

<https://clk.nx1k.jp/mqWbZTaG/test>

介護保険最新情報 Vol.1000（「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律施行規則の一部を改正する省令」の施行に伴う介護職種における入国後講習の時間数の免除に係る取扱いについて）

<https://clk.nx1k.jp/9t7TSKoJ/test>

介護保険最新情報 Vol.999（令和4年1月貸与分から適用される福祉用具の全国平均貸与価格及び貸与価格の上限の公表について（新商品に係る分））

<https://clk.nx1k.jp/9uLZNHAE/test>



介護ニュース

厚労省、コロナ自宅療養の高齢者への訪問看護で通知 特別指示書の交付は可

<https://clk.nx1k.jp/ChoIzslH/test>

介護の技能実習、入国後講習を短縮できる特例の期限を1年延長 厚労省

<https://clk.nx1k.jp/ODvq3W8n/test>

コロナ患者の発生状況やサービスへの影響も追加 処遇状況調査票を了承

<https://clk.nx1k.jp/uyYNaxLA/test>

医療・介護費の伸び経済成長率の範囲に 社会保障のあり方に提言

<https://clk.nx1k.jp/b9y5v8Li/test>

介護法人設立 2746 社に 2 年連続で増加

<https://clk.nx1k.jp/VQUniPcr/test>

【解説】適切なケアマネジメント手法って何？ 厚労省が手引きを公表

<https://clk.nx1k.jp/nsp5c0hk/test>

通所介護の入浴介助加算、自立支援を給付費抑制の理由に使うな

<https://clk.nx1k.jp/JiLr1Rgu/test>

「通所系で特に大きな影響」 介護事業所、コロナ禍で多くが収支悪化 厚労白書

<https://clk.nx1k.jp/OLCR2VCA/test>

介事連・斉藤氏「次の介護報酬改定、過去最大規模の引き下げもあり得る」

<https://clk.nx1k.jp/EZGgrGpQ/test>

介護施設のクラスター、週間 5 件で今年最少に 減少傾向続く

<https://clk.nx1k.jp/1nyaM2tx/test>

介護の新ケアプラン検証、限度額の 7 割利用などで該当 厚労省 10 月から導入へ

<https://clk.nx1k.jp/Uyc271kB/test>



■ 賛助会員広告【株式会社フーズリンク】

賛助会員の株式会社フーズリンクと申します。

弊社は、全国の介護施設様向けに、調理済み食材「クックパック」をお送りさせていただいております。

現在多くの施設様が、食事提供に関して「調理に関わる人材不足」「調理スタッフのスキル不足やバラつき」「食形態や療養食が増えている」等の課題を感じていらっしゃるようです。

「クックパック」はそのようなお悩みに、少しでもお役に立てればと思っております。

◆ 「クックパック」の 7 つの特徴 ◆

1. お皿毎に価格設定しておりますので、カスタマイズな発注が可能。
2. 苦手な食材がある方には、肉・魚・卵など無料で差し替えできます。
3. 食形態は、「常食」「粗キザミ食」「極小食」「ミキサー食(ムース食に成型が可能)」があり、常食と同じ献立でご提供。
4. 療養食は 150 種類以上。
5. 貴施設様の栄養価にあわせて給与量を変更可能。
6. クックパックご利用の施設様は、無料で栄養管理ソフトをご利用できます。クックパックレシピ+現地アレンジが可能になります。
7. 高度な真空調理法を採用。

無料試食サンプルをお送りいたします。お気軽にお問合せくださいませ。

TEL:0120-10(イ-7)-9989(クックパック)

URL : <https://clk.nx1k.jp/hHh8j9Kd/test>



編集後記

マクドナルドの 50 周年テレビ CM が話題 ファストフード世代が 70 代・80 代に

日本マクドナルドのテレビ CM が話題です。50 年前に、日本にできたばかりのマクドナルドにデートで行った女性が、今は孫と一緒にハンバーガーを食べている、という内容です。

当時の若者は 70 代・80 代になっています。ハンバーガーやピザなどに親しんできた高齢者が介護サービスを利用する時代に突入しています。また、テレビゲーム機「ファミリーコンピュータ」が発売されて 40 年弱です。かつて「スーパーマリオブラザーズ」や「ドラゴンクエスト」を夢中になってプレイした人が今は 60 代・70 代です。

「スタッフと利用者の年齢差が大きく、話も合わずになかなか密なコミュニケーションが図れない」という声を介護事業者からよく聞きます。

しかしマクドナルド、ファミコンと、両者の間の「共通言語」は確実に増えつつあります。マクドナルド・ファミコン世代の高齢者に向けたアクティビティの実施などで、そうしたギャップを埋めることも可能になるのではないのでしょうか？

メルマガ編集担当

【配信元】

一般社団法人全国介護事業者連盟

<https://clk.nx1k.jp/4MxFYA0A/test>

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-1-4 西脇ビル 4 階

TEL : 03-5215-5063 FAX : 03-5215-5064

掲載内容の無断転載・再配布は固く禁じます。

配信不要の方はこちらにご連絡ください

info@kaiziren.or.jp